



# あくんちゃらんど

校訓『負けじ魂』

キャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」

HP アドレス <http://www.erabu.net/ohjirosho120/> 令和6年2月21日発行 No. 11

## チャレンジ! 沖永良部島内1周歩こう会

校長 野口 浩二

昨年、私は和泊小学校の福元校長先生が島内1周歩こう会に参加している姿を拝見しました。自分にはできないチャレンジだと思い、感心させられたことを覚えています。

今年は島内1周歩こう会を町内の各小学校が同日に行ってみてはどうかと意見が持ち上がり、各学校のPTA会長を中心に1月20日(土)に和泊小学校、国頭小学校、そして大城小学校の6年生を中心に実施することになりました。

私にとっては島内1周の距離を歩くことは未知の世界で、これまで生きてきた中で長距離を歩いた記憶はありませんでした。そのため最初の休憩場所である和泊中学校までは歩くことを決め、朝6時にみんなと一緒に大城小学校を出発しました。

まだ日が昇らない朝の空気はとても新鮮で気持ちがよく、みんなの談笑する声や楽しい会話につられ歩けるところまでは、みんなと一緒に歩きたいという気持ちになってきました。ところが足の痛みは早い段階から始まり大きなマメに変わっていることがわかるくらいになってきました。でも子どもたちや保護者と一緒に歩けることがとてもうれしくて最後まで歩きたいという気持ちでいっぱいになりました。

田皆では前校長の田邊先生がフルーツやお菓子などを準備され、みんなに振る舞い、元気をもらうことができました。田皆を過ぎたころからマメによるけがの痛みから筋肉の痛みへ変わっていくのが分かりました。痛みを我慢し、体もうまくコントロールできなくなり気力だけで歩いていました。ゴールまであとどれくらいかかるのだろうと不安で心が折れそうになることもありましたが、みんなと一緒にゴールしたい気持ちで一步ずつ足を進めました。最下位でゴールした私でしたが、声援をいただいたみんなと一緒にゴールできた喜びをかみしめ、「やればできる」をこの年で実感でき、とてもうれしかったです。

最後は6年生全員が手をつなぎ一緒にゴールテープを切る姿を記念撮影し、とても微笑ましく感動的なシーンを目の当たりすることができ、大城小学校でのたくさんの思い出と仲良しの6年生の姿をいつまでも心に刻みたいと思いました。素晴らしい感動と思い出をありがとうございました。保護者の皆様ご苦労様でした。そしてありがとうございました。



## 今年もおいしい黒糖ができました



大城小学校恒例のキビ刈りを1月24日(水)、黒糖づくりを25日(木)に行いました。キビ刈りは、5・6年生児童と保護者、PTA事業部、大城小学校もりあげ隊の方々に協力をいただきました。背丈よりも大きく育ったキビでしたが、児童はすぐコツをつかみ上手に刈り取っていました。その後、山下幸秀さんの指導で、サタ車の設置をPTA事業部や5・6年生の保護者が中心となって行いました。

翌日の黒糖づくりは、朝早くにも関わらず、多くの方々にご協力をいただきました。みなさんのご協力で、年1回の貴重な体験活動を無事に終了することができました。心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

できあがった黒糖は、学校行事等の機会を使って地域のみなさんにも味わっていただけたらと考えています。

### 【子どもたちの感想】(日記より)

「黒糖づくり」6年：伊集院 光秀

1月25日に黒糖づくりをしました。6年生最後の黒糖づくりなので、めちゃはりきりました。ぼくは、自動しぼり機でどんどんしぼり、しぼったキビを軽トラにつめました。

その後、来年にたくすために、あちこち回って下級生に黒糖づくりを教えました。幸秀先生から酸性と中性の間の数値が6.5が大切なことだと教わりました。

「黒糖づくり」6年：井手 うらら

1月25日の1~5時間目まで黒糖づくりをしました。最初にキビを機械でしぼるのをしました。私は汁が流れてきて、そのゴミをとるのをしました。最初はちょっとつかれたけど、汁がどンドン流れてきて、どうすればよいか他の子に教えました。色々な体験ができよかったです。昨年に負けない黒糖ができてよかったです。おいしかったです。

「黒とうづくり」5年：伊集院 麻美

1月25日に黒とうづくりをしました。黒とうをこねたり、あくを取ったり、キビをかいたりするのが、とてもたのしかったです。黒とうアメや黒とうがとろとろなときが、めちゃくちゃおいしかったです。来年は今年のおいしさをこえるようにがんばりたいです。

